

フェスティバルのフィナーレを飾る 特別演奏会

尾高忠明 指揮 NHK交響楽団 諏訪内晶子

[ヴァイオリン]

Tadaaki Otaka, Conductor
Akiko Suwanai, Violin
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

尾高忠明

© Martin Richardson

諏訪内晶子

© TAKAKI KUMADA



シベリウス：「ペレアスとメリザンド」組曲 Op.46

Sibelius: Pelleas and Melisande, Op. 46 (version for orchestra)

デュティユー：ヴァイオリンと管弦楽のための夜想曲「同じ和音の上で」

Dutilleux: Nocturne for violin and orchestra, "Sur le meme accord"

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

Brahms: Violin Concerto in D Major, Op.77

2021年5月10日(月) 19:00開演 [18:00開場] **サントリーホール** 東京メトロ溜池山王駅13番出口徒歩10分
Monday, May 10, 2021, 7:00 p.m., at SUNTORY Hall 東京メトロ六本木1丁目3番出口徒歩5分

S¥9,000 / A¥7,500 / B¥6,500 / C¥5,000 / 学生席¥3,000

夢倶楽部会員料金：S¥8,100 / A¥6,700 / B¥5,800 / C¥4,500

※料金には消費税が含まれています。

※学生・シニア等割引については裏面をご覧ください。

お申込み

ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/ サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

チケットびあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード：193-642] イープラス eplus.jp ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード：32455]

好評発売中

主催：ジャパン・アーツ/日本経済新聞社 協力：ユニバーサル ミュージック

特別協賛：



豊田自動織機

TOYOTA



豊田通商

AISIN

芸術監督がヴァイオリニストに与えた最高の試練

音楽祭の「芸術監督」という肩書が、諏訪内晶子というヴァイオリニストの在り方と、どこかミスマッチだと感じる人も少なくないのではないかと。なにより華麗にして孤高といったイメージが強い音楽家だから…。しかし、出演者の選定からプログラムの検討までを常に精力的にこなす彼女の姿勢は、まさに監督のそれに他ならない。

そして、芸術監督である諏訪内晶子が、ヴァイオリニスト諏訪内晶子に課したのが、「国際音楽祭NIPPON 2020」の掉尾を飾るこの企画である。なにしろ協奏曲を二つ、しかも古典と現代を両方弾けというのだ。彼女は今年音楽祭(2月の紀尾井ホール)において「モダン」と「クラシック」を掲げた2夜の演奏会を催しているが、今回はまさにその両方を一夜でこなさなくてはならないわけである。

20世紀の協奏曲から選ばれたのは、フランスの作曲家デュティユーの「同じ和音の上で」。冒頭でヴァイオリン独奏による音群がバラバラと鳴

らされたのち、実はこの6音からなる和音こそが曲のカナメであることが徐々に明らかになってゆく…。完璧主義ゆえ寡作を貫いた作曲家による、美しい構想と響きを持った音楽である。

一方、古典を代表するのが、ブラームスの「ヴァイオリン協奏曲」。今さらのことながら、指盤を突き抜けるような勢いの音の跳躍、とてつもない幅の重音奏法をはじめとして、すべてにおいて最高の技術が試される難曲だ。

休憩が入るとはいえ、この2曲を続けて演奏するというのは、なかなか酷な条件にも思える。しかし、芸術監督は、諏訪内晶子ならば必ずこの試練を乗り越えることができると信じているのだろう。なんとスリリングな試みであることか。

そして、二つの協奏曲の前に置かれたシベリウス「ベレアスとメリザンド」にも注目。尾高忠明の密かな得意曲であり、その凛とした品格は波乱の一夜の幕開けにとりわけふさわしいものだ。

沼野雄司 (音楽学)



© Kiyotaka Saito

諏訪内晶子

(ヴァイオリン)
国際音楽祭NIPPON2020芸術監督
Akiko Suwanai, Violin /
Artistic Director of International
Music Festival NIPPON 2020

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィル、N響など国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年、エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキー国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を芸術監督として主宰。デッカより14枚のCDをリリース。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のグアルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。



© Martin Richardson

尾高忠明 (指揮)

Tadaaki Otaka, Conductor

現在NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団(旧BBCウェールズ交響楽団)桂冠指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者を務める世界的指揮者。1991年度サントリー音楽賞受賞。1997年英国エリザベス女王より大英勳章CBEを、1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与された。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞、2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。



NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo

NHK交響楽団の歴史は、1926年にプロ・オーケストラとして結成された新交響楽団に遡る。その後、日本交響楽団の名称を経て、1951年NHK交響楽団と改称。今日に至るまで、カラヤン、アンセルメ、カイルベルト、マタチッチなど世界一流の指揮者を次々と招聘し、歴史的な名演を残している。

近年N響は、年間54回の定期公演(NHKホール、サントリーホール)をはじめ、全国各地で約120回の演奏活動を行っている。また、2013年8月にはザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春にベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。

現在N響が擁する指揮者陣は、首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージ、正指揮者外山雄三、尾高忠明。

《特別割引チケット》

<WEBジャパン・アーツびあ及びジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付>

◎学生席は社会人を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)ジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も一般価格の半額です。

◎シニア割引 65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。

◎車椅子の方は本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ>

①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑤全指席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただきます。

Twitterでフォローする
@japan_arts